

生涯学習「西柴」講演会報告 「大河ドラマの主人公紫式部とは」 講師：繁田信一先生

2024年2月27日(火) 10時15分より 於西柴団地自治会館

源氏物語全五四帖の講義を、生涯学習「西柴」の文学講座でお願いしている繁田先生に、紫式部の人物像について2時間にわたってお話いただきました。講師の繁田先生は、平安時代の文学や歴史民俗に関する多数の著書を出版され、NHK・BS番組「歴史サミット—平安時代サミット2024 平安時代は本当に『平安』だったのか」にもご出演されました。



今回の講演会では、『紫式部日記』のほか、『紫式部集』『枕草子』『小右記』『江談抄』等を引用しながら、紫式部を取り巻く世界に迫りました。

- ・紫式部の家系—父方・母方ともに漢学者・漢詩人を輩出
- ・結婚相手の藤原宣孝の人物像と年の差婚になった背景
- ・源氏物語創作の原点—物語を作り、批評しあう友人の存在
- ・宮中の女房の仕事内容とそこで紫式部が担当したこと
- ・宮中の女房勤めの過酷な環境

出席者43名一同が驚いたのが、「本筋からは離れますが」と先生が紹介された、当時の貴族女性の食事の方法です。大河ドラマではこんな食事のシーンは絶対に登場しませんが、『枕草子』の記述をもとに、長い髪の毛に重い装束をつけてどのように食事をしていたのか、身振りを交え先生が説明されるには、優雅とはほど遠い姿でした。このような面白いエピソードも散りばめられ、あっという間の2時間でした。